

校長室だより



気仙沼市立九条小学校
令和4年10月25日
NO.11
校長 白倉 彩枝子

かしこく やさしく たくましく



令和4年度 学芸会スローガン

「思い出に残る 笑顔たくさん 学芸会」

秋もたけなわ！文化や芸術をゆっくり楽しむのに、ふさわしい季節を迎えました。

本校でも、10月30日（日）、令和4年度第58回「学芸会」が開催されます。

今年度も残念ながら、コロナ感染拡大防止のため学年総入替制で行い、児童1名につき保護者2名までの観覧となりますが、子供たちは、学芸会のスローガン「思い出に残る笑顔たくさん 学芸会」を目指して、日々練習に励んでいるところです。

学芸会は、運動会とともに、明治の学制発布から続いている学校行事で、150年近い歴史があります。学校行事の精選が言われている昨今ですが、この二大行事だけは、どの学校でも続けられているようです。ただ「学芸会」に関しては、「学習発表会」と名前を変えている学校もあります。私にとっても、久しぶりの「学芸会」です。「学芸会」と「学習発表会」。何がどう違うのか、うまく説明できませんが、簡単に言うと、「学芸会」は、教科書から離れ、これまでの学びを生かして表現する「発表の場」と言えるのではないのでしょうか。劇の脚本や音楽・ダンスの曲目等、教科書に掲載されていないものが選ばれることが多いようです。本校の場合も、その通りです。

さて、学芸会を5日後に控え、校舎のあちこちから、子供たちの声や楽器の音、ダンスの曲等々が聞こえてきます。その音に誘われて、私も校内巡視を始めるのですが、とても驚く光景に出合います。それは、子供たち同士が、話し合いながら練習を進めている光景です。

例えば、5年生。DVDを見ながら、ダンスの練習に集中していました。担任の先生は、練習場所を歩き来しながら、それぞれのグループの練習を見守っていました。子供たちは、先生がいない時も、主体的に練習していたのです。曲が終わる度に、「ここをこうするともっとうまくいくよ。」「ここをもう一回確かめよう！」などと声を掛け合っていました。主体的・対話的に練習をしているのは、高学年ばかりではありません。

3年生では、場面に分かれて劇の練習をしていました。担任の先生から「台詞や動作を自分たちで工夫してみてください。」と言われて輪になり、話し合う様子も見られました。

私たちが経験した学芸会練習は、どちらかというところ、教師主導だったように思います。しかし、今や子供たちは、友達と協力しながら、よりよい演技や発表を目指して、子供たち主体で練習に取り組んでいます。学校行事の練習を通して、子供たちの成長や変容を目の当たりにし、とてもうれしく、頼もしささえ感じました。

保護者の皆様には、衣装や小道具の準備、毎日の練習への励まし等々、御協力をいただいておりますことに心より感謝いたします。当日は、我が子はもちろん、学年集団としての頑張りやチームワークにも温かい応援と大きな拍手をよろしくお願いいたします。

子供たちと共に、「思い出に残る 笑顔たくさん 学芸会」を目指して…。

